

視察（研修）報告書

平成 29 年 7 月 7 日

府中市議会議長 様

会派名又は 公明党

議 員 名 大本 千香子

加島 広宣

日 時	平成 29 年 7 月 7 日 10:00~12:00
視 察（ 研 修 ） 先	広島県庁北館 3 階第 6 委員会室
視 察（ 研 修 ） 項 目	広島版ネウボラ、庁舎の長寿命化、交通弱者対策について
参 加 者	大本 千香子・加島 広宣
視 察（ 研 修 ） 内 容	・広島版ネウボラについて ・庁舎の長寿命化について ・交通弱者対策について
所 感	①広島版ネウボラについて ・府中市では、各サービスは行われているが、ワンストップではないこと、医療と子育ての連携に課題があると考えている。 ・ネウボラには、専門職確保が必要だが、県の人材確保事業を活用して埋もれた専門職の発掘、育成が可能だと感じた。30 年度には府中市もスタートできるような取り組みを考えたい。 ②庁舎の長寿命化について ・長寿命化の判定基準や設備の利活用調査方法等が参考になった。 ・ポートフォリオ分析による各施設の状況把握が今後の整備に不可欠である。 ・公共施設総合整備計画が策定されているが、総論的で現在の進捗は遅々としている。タイムスケジュールを明確にして早期の取り組みが必要である。 ・府中警察署の耐震化のみで機能的には改善されていないことは課題である。 ③交通弱者対策について ・県の公共交通確保の方向性を確認しました。 ・まちづくりと一体化した公共交通が課題で、県は府中市では道の駅開設により交通結節点機能をもたせ、路線変更など集約し利便性を挙げる取り組みを先進的に行っていると評価されていた。 ・公共交通空白地域については、NPO、ボランティア、地域での取り組みに頼るかタクシーの効果的な活用、またタクシー料金の助成などが考えられる。財政的な課題、タクシー台数、乗務員確保などの課題が大きいと考えられる。